

学校コード F117310105497

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

金沢学院大学 栄養学部 栄養学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 企画部参事 石川 温

電話番号 076-229-8892

（夜間） 076-229-8892

e-mail kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

栄養学部

＜栄養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢学院大学

(2) 大学名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学部長	(カワムラ ミエコ) 川村 美笑子 (令和3年4月)		
学科長等	(ワタナベ タクオ) 渡邊 琢夫 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
栄養学部 栄養学科 学士(栄養学)	家政関係	4 年	80 人	3年次 5 人	330 人	新規入学者を募集中	人間健康学部 健康栄養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	80	人	人	80	1.06倍	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	276	-	369	-			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	274	-	368	-			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	184	-	187	-			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	83	-	88	-			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A									1.03		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							79 [-] (-)	- [-] (-)	88 [-]	- [-]	
2年次									79 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次											
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	79 [-] (-)		167 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	83 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	167 人	4 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	4 人	0 人	他教育機関への入学(3)、学生個人の心身に関する事情(1)
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{167} = \boxed{2.39} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<栄養学部 栄養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ)	1前	2			1	1		1				
	学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ)	1後	2			2			1				
	学修基礎Ⅲ	2前	2			1							
	学修基礎Ⅳ	2後	2			1			1				
	小計(4科目)	-	8			3	1		1				
	人文・社会科学	経済学の基礎	2前		2								兼1
		心理学の基礎	1後		2								兼2
		法学(日本国憲法)	1後		2								兼1
		哲学Ⅰ	1前		2								兼1
		哲学Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(5科目)	-		10								兼5	
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前	2									兼2
		小計(1科目)	-	2									兼2
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
		就職基礎講座	3前	1			1	1					
		就職対策講座	3後	1			1	1					
		就業体験(インターンシップ)	1後		1		2						
	小計(5科目)	-	2	5		3	1					兼1	
	自然科学	生物学基礎	2前		2			1					
化学基礎		1後		2		1							
数学基礎		2前		2								兼1	
生理学基礎		2後		2								兼1	
小計(4科目)	-		8		1	1					兼2		
地域連携科目	地域課題研究Ⅰ	2前		2								兼1	
	地域課題研究Ⅱ	2後		2								兼1	
小計(2科目)	-		4								兼1		
外国語科目	英語Ⅰ	1前	2									兼2	
	英語Ⅱ	1後	2									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2								兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2								兼1	
	中国語Ⅰ	2前		2								兼1	
	中国語Ⅱ	2後		2								兼1	
	朝鮮語Ⅰ	2前		2								兼1	
	朝鮮語Ⅱ	2後		2								兼1	
	小計(8科目)	-	4	12								兼5	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ)	1前	2			1	0		0				
	学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ)	1前	2			1	0		0				
	学修基礎Ⅲ	2前	2			2	0						
	学修基礎Ⅳ	2後	2			0	1	1					
	小計(4科目)	-	8			4	1	1	0				
	人文・社会科学	経済学の基礎	2前		2								兼1
		心理学の基礎	1後		2								兼1
		法学(日本国憲法)	1後		2								兼1
		哲学Ⅰ	3前		2								兼1
		哲学Ⅱ	3後		2								兼1
	小計(5科目)	-		10								兼4	
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前	2									兼2
		小計(1科目)	-	2									兼2
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		1						兼0
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		1						兼0
		就職基礎講座	3前	1			1	0					
		就職対策講座	3後	1			1	0					
		就業体験(インターンシップ)	1後		1		1		1				
	小計(5科目)	-	2	5		2	0	1				兼0	
	自然科学	生物学基礎	1前		2		1	0					
化学基礎		1前		2		1							
数学基礎		2前		2								兼1	
生理学基礎		2後		2								兼1	
小計(4科目)	-		8		2	0					兼2		
地域連携科目	地域課題研究Ⅰ	2前		2		2		1				兼0	
	地域課題研究Ⅱ	2後		2		2		1				兼0	
小計(2科目)	-		4		2						兼0		
外国語科目	英語Ⅰ	1前	2									兼2	
	英語Ⅱ	1後	2									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2								兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2								兼1	
	中国語Ⅰ	2前		2								兼1	
	中国語Ⅱ	2後		2								兼1	
	朝鮮語Ⅰ	2前		2								兼1	
	朝鮮語Ⅱ	2後		2								兼1	
小計(8科目)	-	4	12								兼5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	健康栄養学概論	1前	2			1	1					
	保健統計学	1前		2		1						
	保健統計学実習	1前		1		1						
	公衆衛生学	2後	2			1						
	社会福祉概論	3前		2		1						
	健康管理概論	1後		2		1						
	食生活論	3後		2								兼1
	解剖生理学	1後	2			1						
	解剖生理学実験	2前	1			1						
	生物有機化学	1前		2		1						
	生化学Ⅰ	2前	2			1						
	生化学Ⅱ	2前		2		1						
	生化学実験	2後	1			1						
	微生物学	1前	2			1						
	微生物学実験	1後		1		1						
	病態生理学Ⅰ	2前	2			1						
	病態生理学Ⅱ	2後		2		1						
	病態生理学Ⅲ	2後		2		1						
	栄養薬理学	3後		2		1						
	運動生理学	3後		2		1						
	運動生理学実習	3後		1		1						
	食品学Ⅰ	1前	2			1						
	食品学Ⅱ	1後		2		1						
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1						
	食品学実験Ⅱ	2前		1		1						
	食品加工学	3前		2								兼1
	食品機能論	4前		2		1						
	食品加工学実習	3後		1		1						
	食品衛生学	1後	2			1						
	食品衛生学実験	2前	1			1						
献立作成論	1前	2			1							
調理学	1前	2			1							
調理学実習Ⅰ	1前	1			1							
調理学実習Ⅱ	1後		1		1							
調理学実習Ⅲ	1後		1		1							
小計(35科目)		—	25	33		8	1					兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	保健統計学	1前		2		0						兼1
	保健統計学実習	1前		1		0						兼1
	公衆衛生学	2前	2			0						兼1
	社会福祉概論	3前		2		0						兼1
	健康管理概論	1後		2		0						兼1
	食生活論	3後		2								兼1
	解剖生理学	1前	2				1					
	解剖生理学実験	1後	1				1					
	生化学Ⅰ	1前	2				1					
	生化学Ⅱ	1後		2			1					
	生化学実験	2後	1				1					
	病態生理学Ⅰ	1後	2				1					
	病態生理学Ⅱ	2前	2				1					
	病態生理学Ⅲ	2後		2			1					
	運動生理学	3後		2			0					兼1
	食品学Ⅰ	1前	2				1					
	食品学Ⅱ	1後		2			1					
	食品学実験Ⅰ	1後	1				1					
	食品加工学	3前		2								兼1
	食品機能論	3前		2			1					
	食品加工学実習	3後		1			0	1				
	食品微生物学	1前	2				1					
	食品衛生学	1後	2				0	1				
	食品衛生学実験	2前	1				0	1				
	献立作成演習	1後	2				0	1				
	調理学	1前	2				0	1				
	調理学実習Ⅰ(実験含む)	1前	1				0	1				
	調理学実習Ⅱ	1後	1				0	1				
	調理学実習Ⅲ	2前	1				0	1				
	調理学実習Ⅳ	2後	1				1	1				
小計(30科目)		—	38	12		3	2					兼6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	専門科目	基礎栄養学	2前	2			1						
		基礎栄養科学実験	2後	1			1						
		栄養管理学	2後	2			1	1					
		ライフステージ栄養学	3前	2			1	1					
		スポーツ栄養学	4前		2		1	1					
		応用栄養学演習	3後		2		1	1					
		応用栄養学実習	3前	1			1			1			
		栄養教育論	2前	2				1					
		栄養カウンセリング論	2後		2			1					
		栄養教育論演習	3後		2			1					
		栄養教育論実習Ⅰ	3前	1				1					
		栄養教育論実習Ⅱ	3前		1			1					
		臨床栄養管理学	2後	2				1			1		
		臨床栄養学Ⅰ	3前		2			1			1		
		臨床栄養学Ⅱ	3前		2			1			1		
		臨床栄養学演習	3後		2			1			1		
		臨床栄養学実習	3後	1				1			1		
		公衆栄養学	2後	2				1					
		公衆栄養学演習	3後		2			1					
		公衆栄養学実習	3前	1				1					
	給食経営管理論	2前	2						1				
	給食栄養管理論	2後		2					1				
	給食経営管理基礎実習	2前	1						1				
	給食経営管理応用実習	2後		1					1				
	総合演習	4通		2		8	2			2			
	実践栄養学特論Ⅰ	4通		2		3	1			1			
	実践栄養学特論Ⅱ	4通		2		5	1						
	臨地実習事前・事後指導	2後		1					1				
	給食の運営校外実習	3前		1					1				
	臨床栄養臨地実習	4前		2			1		1				
	給食経営管理臨地実習	3後		1					1				
	公衆栄養臨地実習	3後		1		1							
卒業研究Ⅰ	4前	3			8	2			3				
卒業研究Ⅱ	4後	3			8	2			3				
学校栄養教育法	3前		2						1				
食に関する指導法	3後		2						1				
専門科目	関連科目	石川の食	3後		2							兼2	
		北陸の食文化	1前		2							兼1	
		レポート・プレゼンテーション演習	1後		2							兼1	
		専門英語	4前		2							兼1	
		食料経済	1前		2							兼1	
		フードスペシャリスト論	1前		2							兼1	
		フードコーディネーター論	1前		2							兼1	
		小計(43科目)	—	26	50		8	2		3		兼7	
		合計(107科目)	—	67	122		8	2		3		兼21	

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修12単位及び自然科学分野から4単位以上を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門基礎科目で25単位の必修科目、専門実践科目で26単位の必修科目を含め、100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	専門科目	基礎栄養学	1後	2			1							
		基礎栄養科学実験	2前	1			1							
		応用栄養学Ⅰ	1後	2			1	0						
		応用栄養学Ⅱ	2前	2			1	0						
		応用栄養学演習	3後		2		1	0						
		応用栄養学実習	2後	1			0	0	1	0				
		栄養教育論Ⅰ	1後	2			1	0						
		栄養教育論Ⅱ	2前	2			1	0						
		栄養情報処理演習	4前	2			1	0						
		栄養教育論実習Ⅰ	2後	1			1	0						
		栄養教育論実習Ⅱ	3前		1		1	0						
		栄養アセスメント	3前	2			1	0			0			
		臨床栄養学Ⅰ	2後	2			1	0			0			
		臨床栄養学Ⅱ	3前		2		1	0			0			
		臨床栄養実践演習	4前		2		1	0			0			
		臨床栄養学実習	3後	1			1	0			0			
		公衆栄養活動論	3後		1		1							
		公衆栄養学	2前	2			1							
		地域栄養演習	3前		2		1							
		公衆栄養学実習	3後		1		1							
		給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1				0			
		給食経営管理論Ⅱ	2後		2		1				0			
		給食経営管理基礎実習	2後	1			1				0			
		給食経営管理応用実習	3前		1		1				0			
		総合演習	4前		1		8	2			0			
		臨地実習事前・事後指導Ⅰ	2後	1			2				0			
		校外実習(給食の運営)	3前	1			1				0			
		臨地実習Ⅰ(臨床栄養)	4前		2		1	0			0			
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理)	3後		1		1				0			
		臨地実習Ⅲ(公衆栄養)	4前		1		1							
		卒業研究Ⅰ	4前	3			8	2	1	0				
		卒業研究Ⅱ	4後	3			8	2	1	0				
		学校栄養教育法	3前		2						1	0		
		食に関する指導法	3後		2						1	0		
		専門科目	関連科目	石川の食	3後		2							兼2
				北陸の食文化	1前		2							兼1
				健康栄養学概論	1前	2			5	1	1			
				生物有機化学	1前	2			1					
	微生物学			1前		2			1					
	微生物学実験			1後		1			1					
	栄養薬理学			3後		2		1						
	運動生理学実習			3後		1							兼1	
	食品栄養化学実験			2前		1		1						
	スポーツ栄養学			4後		2		1						
	実践栄養学特論Ⅰ			4前	2			5						
	実践栄養学特論Ⅱ			4後	2			4	2					
	臨地実習事前・事後指導Ⅱ			3後		1		1						
	レポート・プレゼンテーション演習			1後		2							兼1	
	専門英語	4前		2		1					兼0			
	食料経済	1前			2						兼1			
	フードスペシャリスト論	1前			2						兼1			
	フードコーディネーター論	1前			2						兼1			
小計(52科目)	—	41	41	6	8	2	1	0		兼7				
合計(111科目)	—	95	92		8	2	1	0		兼23				

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修12単位及び自然科学分野から4単位以上を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門基礎科目で25単位の必修科目、専門実践科目で26単位の必修科目を含め、100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ)	1前	2			2	0		0			
	学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ)	1前	2			2			0			
	学修基礎Ⅲ	2前	2			0	1					
	学修基礎Ⅳ	2後	2			0	1					
	小計(4科目)	-	8			3	2		0			
	人文・社会科学	経済学の基礎	2前		2							兼1
		心理学の基礎	1後		2							兼1
		法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		哲学Ⅰ	3前		2							兼1
		哲学Ⅱ	3後		2							兼1
		小計(5科目)	-		10							兼4
	スポーツ科	スポーツ科学	1前	2								兼2
		小計(1科目)	-	2								兼2
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2							兼1
		就職基礎講座	3前	1			1	0				
		就職対策講座	3後	1			1	0				
		就業体験(インターンシップ)	1後		1		1		0			
		小計(5科目)	-	2	5		2	0	1			兼1
	自然科学	生物学基礎	1前		2		1	0				
		化学基礎	1前		2		1					
		数学基礎	2前		2							兼1
		生理学基礎	2後		2							兼1
小計(4科目)		-		8		2	0				兼2	
地域連携科目	地域課題研究Ⅰ	2前		2		1					兼0	
	地域課題研究Ⅱ	2後		2		1					兼0	
	小計(2科目)	-		4		2					兼0	
外国語科目	英語Ⅰ	1前	2								兼2	
	英語Ⅱ	1後	2								兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2							兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2							兼1	
	中国語Ⅰ	2前		2							兼1	
	中国語Ⅱ	2後		2							兼1	
	朝鮮語Ⅰ	2前		2							兼1	
	朝鮮語Ⅱ	2後		2							兼1	
	小計(8科目)	-	4	12							兼5	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	保健統計学	1前		2		0						兼1
	保健統計学実習	1前		1		0						兼1
	公衆衛生学	2前	2			0						兼1
	社会福祉概論	3前	2			0						兼1
	健康管理概論	1後	2			0						兼1
	食生活論	3後	2									兼1
	解剖生理学	1前	2			1						
	解剖生理学実験	1後	1			1						
	生化学 I	1前	2			1						
	生化学 II	1後		2		1						
	生化学実験	2後	1			1						
	病態生理学 I	1後	2			1						
	病態生理学 II	2前	2			1						
	病態生理学 III	2後		2		1						
	運動生理学	3後	2			0						兼1
	食品学 I	1前	2			1						
	食品学 II	1後	2			1						
	食品学実験 I	1後	1			1						
	食品加工学	3前		2								兼1
	食品機能論	3前		2		1						
	食品加工学実習	3後		1		0	1					
	食品微生物学	1前	2				1					
	食品衛生学	1後	2			0	1					
	食品衛生学実験	2前	1			0	1					
	献立作成演習	1後	2			0	1					
	調理学	1前	2			0	1					
	調理学実習 I (実験含む)	1前	1			0	1					
	調理学実習 II	1後	1			0	1					
	調理学実習 III	2前	1			0	1					
	調理学実習 IV	2後	1				1					
小計(30科目)	—	38	12		3	2					兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	専門科目	基礎栄養学	1後	2			1						
		基礎栄養科学実験	2前	1			1						
		応用栄養学Ⅰ	1後	2			1	0					
		応用栄養学Ⅱ	2前	2			1	0					
		応用栄養学演習	3後		2		1	1					
		応用栄養学実習	2後	1			0	1		0			
		栄養教育論Ⅰ	1後	2			1	0					
		栄養教育論Ⅱ	2前	2			1	0					
		栄養情報処理演習	4前	2			1	0					
		栄養教育論実習Ⅰ	2後	1			1	0					
		栄養教育論実習Ⅱ	3前		1		1	0					
		栄養アセスメント	3前	2			1	1		0			
		臨床栄養学Ⅰ	2後	2			1	0		0			
		臨床栄養学Ⅱ	3前		2		1	1		0			
		臨床栄養実践演習	4前		2		1	1		0			
		臨床栄養学実習	3後	1			1	1		0			
		公衆栄養活動論	3後		1		1						
		公衆栄養学	2前	2			1						
		地域栄養演習	3前		2		1						
		公衆栄養学実習	3後		1		1						
		給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1			0			
		給食経営管理論Ⅱ	2後		2		1			0			
		給食経営管理基礎実習	2後	1			1			0			
		給食経営管理応用実習	3前		1		1			0			
		総合演習	4前		1		8	3		0			
		臨地実習事前・事後指導Ⅰ	2後	1			1			0			
		校外実習(給食の運営)	3前	1			1			0			
		臨地実習Ⅰ(臨床栄養)	4前		2		1	1		0			
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理)	3後		1		1			0			
		臨地実習Ⅲ(公衆栄養)	4前		1		1			0			
		卒業研究Ⅰ	4前	3			8	3	1	0			
		卒業研究Ⅱ	4後	3			8	3	1	0			
学校栄養教育法	3前		2				1	0					
食に関する指導法	3後		2				1	0					
専門科目	関連科目	石川の食	3後		2							兼2	
		北陸の食文化	1前		2							兼1	
		健康栄養学概論	1前	2			2						
		生物有機化学	1前	2			1						
		微生物学	1前		2			1					
		微生物学実験	1後		1			1					
		栄養薬理学	3後		2		1						
		運動生理学実習	3後		1							兼1	
		食品栄養化学実験	2前		1		1						
		スポーツ栄養学	4後		2		1						
		実践栄養学特論Ⅰ	4前	2			5						
		実践栄養学特論Ⅱ	4後	2			4	2					
		臨地実習事前・事後指導Ⅱ	3後		1		1						
		レポート・プレゼンテーション演習	1後		2							兼1	
専門英語	4前		2		1					兼0			
食料経済	1前			2						兼1			
フードスペシャリスト論	1前			2						兼1			
フードコーディネータ論	1前			2						兼1			
小計(52科目)		—	41	41	6	8	3	1	0		兼7		
合計(111科目)		—	95	92		8	3	1	0		兼24		

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修12単位及び自然科学分野から4単位以上を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門基礎科目で25単位の必修科目、専門科目で26単位の必修科目を含め、100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当者の職位変更により、以下の科目について教員数が増減となった。
 - 「学修基礎Ⅰ（プレゼミⅠ）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「献立作成演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「調理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。「調理学実習Ⅰ（調理科学実験含む）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「調理学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「調理学実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「栄養教育論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「栄養教育論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「栄養情報処理演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「栄養教育論実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「栄養教育論実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「給食経営管理論Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「給食経営管理論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「給食経営管理基礎実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「給食経営管理応用実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「総合演習」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」「助教2」から「教授8」「准教授3」に変更。
 - 「実践栄養学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教1」から「教授5」に変更。
 - 「実践栄養学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更。
 - 「校外実習（給食の運営）」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「臨地実習Ⅰ（臨床栄養）」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - 「臨地実習Ⅱ（公衆栄養）」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」「助手1」に変更。
 - 「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」「助教3」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
 - 「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」「助教3」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
- ・担当者的変更および職位変更により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」「助教3」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。
 - 「学修基礎Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「学修基礎Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「心理学の基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - 「就業体験（インターンシップ）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「講師1」に変更。
 - 「生物学基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「地域課題研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - 「地域課題研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - 「健康栄養学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「保健統計学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「保健統計学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「社会福祉概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「健康管理概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「微生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「微生物学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「運動生理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「運動生理学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - 「食品加工学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「食品微生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「食品衛生学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「食品衛生学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - 「応用栄養学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「応用栄養学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「スポーツ栄養学」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「応用栄養学実習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「准教授1」に変更。
 - 「栄養アセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - 「臨床栄養学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「臨床栄養学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - 「臨床栄養実践演習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - 「臨床栄養実践演習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - 「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - 「学校栄養教育法」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
 - 「食に関する指導法」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
 - 「専門英語」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・学習効果を上げるため、以下の科目について開講期を変更した。
 - 「学修基礎Ⅱ（プレゼミⅡ）」の開講期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
 - 「哲学Ⅰ」の開講期を「1年前期」から「3年前期」に変更。
 - 「哲学Ⅱ」の開講期を「1年前期」から「3年後期」に変更。
 - 「生物学基礎」の開講期を「2年前期」から「1年前期」に変更。
 - 「化学基礎」の開講期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
 - 「公衆衛生学」の開講期を「2年後期」から「2年前期」に変更。
 - 「解剖生理学」の開講期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
 - 「解剖生理学実験」の開講期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
 - 「生化学Ⅰ」の開講期を「2年前期」から「1年前期」に変更。
 - 「生化学Ⅱ」の開講期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
 - 「病態生理学Ⅰ」の開講期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
 - 「病態生理学Ⅱ」の開講期を「2年後期」から「2年前期」に変更。

「調理学実習Ⅲ」の開講期を「1年後期」から「2年前期」に変更。
 「食品機能論」の開講期を「4年前期」から「3年前期」に変更。
 「基礎栄養学」の開講期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
 「基礎栄養科学実験」の開講期を「2年後期」から「2年前期」に変更。
 「応用栄養学Ⅰ」の開講期を「2年後期」から「1年後期」に変更。
 「応用栄養学Ⅱ」の開講期を「3年前期」から「2年前期」に変更。
 「スポーツ栄養学」の開講期を「4年前期」から「4年後期」に変更。
 「応用栄養学実習」の開講期を「3年前期」から「2年後期」に変更。
 「栄養教育論Ⅰ」の開講期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
 「栄養教育論Ⅱ」の開講期を「2年後期」から「2年前期」に変更。
 「栄養情報処理演習」の開講期を「3年後期」から「4年前期」に変更。
 「栄養教育論実習Ⅰ」の開講期を「3年前期」から「2年後期」に変更。
 「栄養アセスメント」の開講期を「2年後期」から「3年前期」に変更。
 「臨床栄養学Ⅰ」の開講期を「3年前期」から「2年後期」に変更。
 「臨床栄養演習」の開講期を「3年後期」から「4年前期」に変更。
 「臨床栄養実践演習」の開講期を「3年後期」から「4年前期」に変更。
 「地域栄養演習」の開講期を「3年後期」から「3年前期」に変更。
 「公衆栄養学」の開講期を「2年後期」から「2年前期」に変更。「公衆栄養学実習」の開講期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
 「給食経営管理基礎実習」の開講期を「2年前期」から「2年後期」に変更。
 「給食経営管理応用実習」の開講期を「2年後期」から「3年前期」に変更。
 「総合演習」の開講期を「4年通年」から「4年前期」に変更。
 「実践栄養学特論Ⅰ」の開講期を「4年通年」から「4年前期」に変更。
 「実践栄養学特論Ⅱ」の開講期を「4年通年」から「4年後期」に変更。
 「臨地実習Ⅲ（公衆栄養）」の開講期を「3年後期」から「4年前期」に変更。
 「レポート・プレゼンテーション演習」の開講期を「1年後期」から「2年前期」に変更。
 「専門英語」の開講期を「4年前期」から「4年後期」に変更。
 「食料経済」の開講期を「1年前期」から「3年前期」に変更。
 「フーズスペシャリスト論」の開講期を「1年前期」から「3年前期」に変更。
 「フードコーディネーター論」の開講期を「1年前期」から「3年前期」に変更。
 ・栄養士法施行規則の科目区分に準じ、科目区分の「専門実践科目」を「専門科目」に名称変更。
 ・厚生労働省の指導により、以下の科目について科目区分を変更した。
 「健康栄養学概論」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「生物有機化学」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「微生物学」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「微生物学実験」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「栄養薬理学」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「運動生理学実習」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「食品栄養化学実験」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「スポーツ栄養学」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「実践栄養学特論Ⅰ」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 「実践栄養学特論Ⅱ」は「専門科目」から「関連科目」に変更。
 ・厚生労働省の指導により、以下の科目を追加した。
 「食品微生物学」を「専門科目」に追加。
 「調理学実習Ⅳ」を「専門科目」に追加。
 「公衆栄養活動論」を「専門科目」に追加。
 「臨地実習事前・事後指導Ⅱ」を「関連科目」に追加。
 ・厚生労働省の指導により、以下の科目名を変更した。
 「献立作成論」は「献立作成演習」に名称変更。
 「食品学実験Ⅰ」は「食品学実験」に、「食品学実験Ⅱ」は「食品栄養化学実験」に名称変更。
 「調理学実習Ⅰ」は「調理学実習Ⅰ（調理科学実験含む）」に名称変更。
 「栄養管理学」を「応用栄養学Ⅰ」に名称変更。
 「ライフステージ栄養学」を「応用栄養学Ⅱ」に名称変更。
 「栄養教育論」を「栄養教育論Ⅰ」に名称変更。
 「栄養カウンセリング論」を「栄養教育論Ⅱ」に名称変更。
 「栄養教育論演習」を「栄養情報処理演習」に名称変更。
 「臨床栄養管理学」を「栄養アセスメント」に名称変更。
 「臨床栄養学演習」を「臨床栄養実践演習」に名称変更。
 「公衆栄養学演習」を「地域栄養演習」に名称変更。
 「給食経営管理論」を「給食経営管理論Ⅰ」に名称変更。
 「給食栄養管理論」を「給食経営管理論Ⅱ」に名称変更。
 「臨地実習事前・事後指導」を「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」に名称変更。
 「給食の運営校外実習」を「校外実習（給食の運営）」に名称変更。
 「臨床栄養臨地実習」を「臨地実習Ⅰ（臨床栄養）」に名称変更。
 「給食経営管理臨地実習」を「臨地実習Ⅱ（給食経営管理）」に名称変更。
 「公衆栄養臨地実習」を「臨地実習Ⅲ（公衆栄養）」に名称変更。
 ・業務の効率化を図るため、以下の科目について専任教員等の配置数を変更した。
 「学修基礎Ⅰ（プレゼミⅠ）」の専任教員等の配置について「助教Ⅰ」を削除。
 「学修基礎Ⅱ（プレゼミⅡ）」の専任教員等の配置について「助教Ⅰ」を削除。
 「就職基礎講座」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
 「就職対策講座」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
 「就職体験（インターンシップ）」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ」から「教授Ⅰ」「講師Ⅰ」に変更。
 「臨地実習Ⅱ（給食経営管理）」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
 ・科目の追加により、以下の科目について専任教員等の配置数を変更した。
 「臨地実習事前・事後指導Ⅱ」の専任教員等の配置に「教授Ⅰ」を追加。
 「食品微生物学」の専任教員等の配置に「准教授Ⅰ」を追加。
 「調理学実習Ⅳ」の専任教員等の配置に「准教授Ⅰ」を追加。
 「公衆栄養活動論」の専任教員等の配置に「教授Ⅰ」を追加。
 ・厚生労働省の指導により、以下の科目について単位数を変更した。
 「社会福祉概論」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「健康管理概論」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「食生活論」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「生物有機化学」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「食品学Ⅱ」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「調理学実習Ⅱ」の単位数を「選択1単位」から「必修1単位」に変更。
 「調理学実習Ⅲ」の単位数を「選択1単位」から「必修1単位」に変更。
 「栄養教育論Ⅱ」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「栄養情報処理演習」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「臨床栄養学Ⅰ」の単位数を「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
 「公衆栄養学実習」の単位数を「必修1単位」から「選択1単位」に変更。
 「総合演習」の単位数を「選択2単位」から「選択1単位」に変更。
 「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」の単位数を「選択1単位」から「必修1単位」に変更。
 「校外実習（給食の運営）」の単位数を「選択1単位」から「必修1単位」に変更。
 「食料経済」の単位数を「選択2単位」から「自由2単位」に変更。
 「フーズスペシャリスト論」の単位数を「選択2単位」から「自由2単位」に変更。
 「フードコーディネーター論」の単位数を「選択2単位」から「自由2単位」に変更。

【令和4年度】

- ・担当科目の調整のため、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。
 - 「学修基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - 「学修基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - 「学修基礎Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - 「学修基礎Ⅳ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
 - 「コンピュータ基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
 - 「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
 - 「就業体験（インターンシップ）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
 - 「地域課題研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
 - 「地域課題研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
 - 「応用栄養学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考え「健康栄養学概論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授5」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考え「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・鶴見田鶴子准教授の退職に伴い、以下の科目について専任教員等の配置を変更した。
 - 「応用栄養学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - 「栄養アセスメント」「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養実践演習」「臨床栄養学実習」「臨地実習Ⅰ（臨床栄養）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - 「総合演習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	68 科目	0 科目	107 科目	55 科目 [16]	53 科目 [△15]	3 科目 [3]	111 科目 [4]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{107} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	◆共用する他の学校 金沢学院短期大学 (必要面積：3,200㎡) ◆運動場用地(専用)借用面積:1,386㎡、期間:25年 ◆その他(共用)借用面積：919㎡、借用期間10年 1,978㎡、借用期間21年(女子学生寮等)			
	校舎敷地	0 ㎡	82,501 ㎡	0 ㎡	82,501 ㎡				
	運動場用地	35,590 ㎡	10,612 ㎡	0 ㎡	46,202 ㎡				
	小 計	35,590 ㎡	93,113 ㎡	0 ㎡	128,703 ㎡				
	そ の 他	31,610 ㎡	9,639 ㎡	0 ㎡	41,249 ㎡				
	合 計	67,200 ㎡	102,752 ㎡	0 ㎡	169,952 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	金沢学院短期大学と併用 (必要面積：3,650㎡)				
	(16,288 ㎡)	(16,984 ㎡)	(5,107 ㎡)	(38,379 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(一部、金沢学院短期大学と共用) (補助職員 3人) (補助職員 2人)			
	50室	13室	43室	13室	3室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	栄養学部 栄養学科			20 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書は大学及び短期大学全体での共用分を含む 機械・器具、標本は大学及び短期大学全体での共用分を含む	
	栄養学部	59,336 [11,997] (56,736 [11,953])	16 [1] (16 [1])	0 [0] (0 [0])	1,227 (1,131)	2,152 (2,152)	0 (0)		
	計	59,336 [11,997] (56,736 [11,953])	16 [1] (16 [1])	0 [0] (0 [0])	1,227 (1,131)	2,152 (2,152)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,755 ㎡		335 席		229,914 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,391 ㎡		屋内練習場		テニスコート				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 共同研究費等は大学全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		自己資金、資産運用収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部											
文学部											
文学科	4	180	3年次 ⁸	736	学士(文学)	1.14	1.08	令和3	平成27	石川県金沢市末町10の5番地	定員変更(30)
日本文学専攻	4	60	(便宜上) ⁴	248	学士(文学)	1.13	1.23	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
英米文学専攻	4	30		120	学士(文学)	0.62	0.36	-	平成27	同上	
歴史学専攻	4	50	(便宜上) ⁴	208	学士(文学)	1.37	1.12	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
心理学専攻	4	40		160	学士(文学)	1.32	1.37	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成30	同上	令和4年より学生募集停止
教育学部											
教育学部											
教育学科	4	70	3年次 ⁵	290	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
経営情報学部											
経営情報学部											
経営ビジネス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営システム学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年より学生募集停止
経済学部											
経済学部											
経済学科	4	80	3年次 ⁵	330	学士(経済学)	1.00	1.00	令和4	令和2	同上	定員変更(30)
経営学科	4	60	3年次 ⁵	250	学士(経営学)	1.31	1.37	令和4	令和2	同上	定員変更(10)
経済情報学部											
経済情報学部											
経済情報学科	4	70	-	280	学士(経済情報学)	1.09	1.05	-	令和2	同上	
芸術学部											
芸術学部											
芸術学科	4	70	3年次 ²	284	学士(芸術学)	1.14	1.04	-	平成28	同上	
人間健康学部											
人間健康学部											
スポーツ健康学科	4	-	-	-	学士(スポーツ健康学)	-	-	-	平成23	同上	令和3年より学生募集停止
健康栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	平成28	同上	令和3年より学生募集停止
スポーツ科学部											
スポーツ科学部											
スポーツ科学科	4	150	3年次 ¹⁰	620	学士(スポーツ科学)	1.14	1.15	-	令和3	同上	
栄養学部											
栄養学部											
栄養学科	4	80	3年次 ⁵	330	学士(栄養学)	1.06	1.10	-	令和3	同上	
大学全体	-	800	40	3280	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
大学院経営情報学研究科											
経営情報学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (経営情報学)	0.35	0.40	-	平成11	石川県金沢市末町10の5番地及びサテライト教室(石川県金沢市南町3番1号 南町中央ビル)	
経営情報学専攻(博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (経営情報学)	0.08	0.00	-	平成17		
大学院人文学研究科											
人文学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士 (文学)	0.40	0.60	-	平成20	石川県金沢市末町10の5番地	
大学院スポーツ健康学研究科											
スポーツ健康学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士 (スポーツ健康学)	0.40	0.20	-	平成27	同上	
大学院全体	-	24	-	52	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢学院短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
幼児教育学科	年	人	年次人	人	短期大学士(幼児教育学)	倍	倍	-	平成30	石川県金沢市末町10の5番地	
現代教養学科	2	50	-	100	短期大学士(教養)	0.86	0.76	-	平成28	同上	
食物栄養学科	2	60	-	120	短期大学士(栄養学)	1.13	1.22	-	平成17	同上	
短期大学全体	-	160	-	320	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<栄養学部 栄養学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上田 伸男 (69) <令和3年4月> 保健学博士 栄養薬理学 運動生理学 運動生理学実習 公衆栄養学 公衆栄養学演習 公衆栄養学実習 総合演習 実践栄養学特論Ⅱ 公衆栄養臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	榎本 俊樹 (62) <令和3年4月> 農学博士 学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ) 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品機能論 総合演習 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	川村 美笑子 (72) <令和3年4月> 農学博士 学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ) 学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ) 学修基礎Ⅳ 基礎栄養学 基礎栄養科学実験 栄養管理学 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 応用栄養学演習 応用栄養学実習 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	飯田 範子 (65) <令和3年4月> 短期大学士 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理基礎実習 給食経営管理応用実習 校外実習(給食の運営) 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 臨地実習事前・事後指導Ⅰ 臨地実習Ⅱ(給食経営管理) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	川村 美笑子 (72) <令和3年4月> 農学博士 基礎栄養学 基礎栄養科学実験 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ スポーツ栄養学 応用栄養学演習 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康栄養学概論

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	飯田 範子 (66) <令和3年4月> 短期大学士 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理基礎実習 給食経営管理応用実習 校外実習(給食の運営) 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 健康栄養学概論 臨地実習事前・事後指導Ⅰ 臨地実習Ⅱ(給食経営管理) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	川村 美笑子 (73) <令和3年4月> 農学博士 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎栄養学 基礎栄養科学実験 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ スポーツ栄養学 応用栄養学演習 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康栄養学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	林 直之 (58) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	林 直之 (58) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	林 直之 (59) <令和3年4月> 工学博士
		就業体験(インターンシップ) 化学基礎 生物有機化学 生化学 I 生化学 II 生化学実験 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II			就業体験(インターンシップ) 化学基礎 生物有機化学 地域課題研究 II 生化学 I 生化学 II 生化学実験 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II			学修基礎 III 就業体験(インターンシップ) 化学基礎 生物有機化学 生化学 I 生化学 II 生化学実験 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II
専	教授		専	教授	宮本 佳代子 (72) <令和3年4月> 博士(体育学)	専	教授	宮本 佳代子 (73) <令和3年4月> 博士(体育学)
					栄養アセスメント 臨床栄養学 I 臨床栄養学 II 臨床栄養実践演習 臨床栄養学実習 総合演習 臨地実習 I (臨床栄養) 卒業研究 I 卒業研究 II 実践栄養学特論 I			学修基礎 III 栄養アセスメント 臨床栄養学 I 臨床栄養学 II 臨床栄養実践演習 臨床栄養学実習 総合演習 臨地実習 I (臨床栄養) 卒業研究 I 卒業研究 II 健康栄養学概論 実践栄養学特論 I 臨地実習事前・事後指導 I
専	教授	矢野 俊博 (72) <令和3年4月> 農学博士	専	教授		専	教授	
		学修基礎 III 微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習 実践栄養学特論 II 卒業研究 I 卒業研究 II						
専	教授	渡邊 琢夫 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 琢夫 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 琢夫 (61) <令和3年4月> 博士(医学)
		就職基礎講座 就職対策講座 解剖生理学 解剖生理学実験 病態生理学 I 病態生理学 II 病態生理学 III 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II			地域課題研究 I 解剖生理学 解剖生理学実験 病態生理学 I 病態生理学 II 病態生理学 III 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II 健康栄養学概論 栄養薬理学 専門英語			解剖生理学 解剖生理学実験 病態生理学 I 病態生理学 II 病態生理学 III 総合演習 実践栄養学特論 I 卒業研究 I 卒業研究 II 健康栄養学概論 栄養薬理学 専門英語
専	准教授	掛場 清美 (62) <令和3年4月> 短期大学士	専	准教授		専	准教授	
		生物学基礎 健康栄養学概論 栄養管理学 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 応用栄養学演習 臨床栄養管理学 臨床栄養学 I 臨床栄養学 II 臨床栄養学演習 臨床栄養学実習 総合演習 実践栄養学特論 I 臨床栄養臨地実習 卒業研究 I 卒業研究 II						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	七尾 由美子 (52) <令和3年4月> 博士(学術)
		学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ) 就職基礎講座 就職対策講座 栄養教育論 栄養カウンセリング論 栄養教育論演習 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 総合演習 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		鶴見 田鶴子 (68) <令和3年4月> 修士(学術)
専	准教授	学修基礎Ⅲ 応用栄養学演習 応用栄養学実習 栄養アセスメント 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養実践演習 臨床栄養学実習 総合演習 臨地実習Ⅰ(臨床栄養) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	西村(池谷) 栄恵 (51) <令和3年4月> 修士(栄養科学)
		就業体験(インターンシップ) 献立作成演習 調理学 調理学実習Ⅰ(実験含む) 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ 調理学実習Ⅳ 総合演習 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	安川 然太 (44) <令和3年4月> 博士(農学)
		学修基礎Ⅳ 食品加工学実習 食品微生物学 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 微生物学 微生物学実験 実践栄養学特論Ⅱ
専	講師	徳永 美希 (34) <令和3年4月> 修士(人間環境学)
		学校栄養教育法 食に関する指導法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村(池谷) 栄恵 (52) <令和3年4月> 修士(栄養科学)
		献立作成演習 調理学 調理学実習Ⅰ(実験含む) 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ 調理学実習Ⅳ 総合演習 健康栄養学概論 実践栄養学特論Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	安川 然太 (45) <令和3年4月> 博士(農学)
		学修基礎Ⅳ 食品加工学実習 食品微生物学 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 微生物学 微生物学実験 実践栄養学特論Ⅱ
専	講師	徳永 美希 (35) <令和3年4月> 修士(人間環境学)
		学修基礎Ⅳ 就業体験(インターンシップ) 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 応用栄養学実習 学校栄養教育法 食に関する指導法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康栄養学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	飯田 範子 (65) <令和3年4月> 短期大学士 給食経営管理論 給食栄養管理論 給食経営管理基礎実習 給食経営管理応用実習 給食の運営校外実習 総合演習 実践栄養学特論Ⅰ 臨地実習事前・事後指導 給食経営管理臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		佐喜真 未帆 (41) <令和3年4月> 修士(食品栄養科学) 学校栄養教育法 食に関する指導法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		鶴見 田鶴子 (68) <令和3年4月> 修士(学術) 学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ) 学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ) 学修基礎Ⅳ 応用栄養学実習 臨床栄養管理学 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学演習 臨床栄養学実習 総合演習 臨床栄養臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		外山 寛 (62) <令和3年4月> 博士(学術) 生理学基礎
		馬場先 恵子 (63) <令和3年4月> 博士(学術) レポート・プレゼンテーション演習
		平木 孝志 (67) <令和3年4月> 芸術学修士 石川の食
		福井 卓也 (51) <令和3年4月> 修士(体育学) スポーツ科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚崎 玲子 (59) <令和3年4月> 文学修士
		英語 I 英語 II
兼任	准教授	中崎 崇志 (50) <令和3年4月> 博士(文学)
		心理学の基礎
兼任	准教授	中村 直行 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学 I 哲学 II 数学基礎 コンピュータ基礎演習 I コンピュータ基礎演習 II
兼任	准教授	前川 浩子 (43) <令和3年4月> 博士(教育学)
		心理学の基礎
兼任	准教授	ロバート・カニンガム (53) <令和3年4月> Bachelor of Arts, Psychology (米国)
		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 専門英語
兼任	講師	林 文慧 (63) <令和3年4月> 修士(経済学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	深堀 遼太郎 (35) <令和3年4月> 博士(商学)
		経済学の基礎
兼任	講師	山脇 あゆみ (37) <令和3年4月> 修士(教育学)
		地域課題研究 I 地域課題研究 II
兼任	助教	棟田 雅也 (31) <令和3年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学
兼任	講師	小林 雅裕 (69) <令和3年4月> 農学博士
		食料経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚崎 玲子 (59) <令和3年4月> 文学修士
		英語 I 英語 II
兼任	准教授	中村 直行 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学 I 哲学 II 数学基礎
兼任	講師	林 文慧 (63) <令和3年4月> 修士(経済学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	助教	竹澤 賢樹 (51) <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		社会福祉概論
兼任	助教	藤本 素子 (40) <令和3年4月> 学士(体育学)
		スポーツ科学
兼任	講師	板谷 智也 (45) <令和3年4月> 博士(保健学)
		保健統計学実習
兼任	講師	小林 雅裕 (69) <令和3年4月> 農学博士
		食料経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	嶋村 貢志 (42) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics
		英語 I 英語 II
兼任	講師	林 文慧 (64) <令和3年4月> 修士(経済学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	助教	藤本 素子 (41) <令和3年4月> 学士(体育学)
		スポーツ科学
兼任	講師	板谷 智也 (46) <令和3年4月> 博士(保健学)
		保健統計学実習
兼任	講師	小林 雅裕 (70) <令和3年4月> 農学博士
		食料経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	下置 宏子 (51) <令和3年4月> 文学士	兼任	講師	下置 宏子 (51) <令和3年4月> 文学士	兼任	講師	下置 宏子 (52) <令和3年4月> 文学士
		フードコーディネーター論			フードコーディネーター論			フードコーディネーター論
兼任	講師	宋 有宰 (55) <令和3年4月> 文学博士	兼任	講師	宋 有宰 (55) <令和3年4月> 文学博士	兼任	講師	宋 有宰 (56) <令和3年4月> 文学博士
		朝鮮語 I 朝鮮語 II			朝鮮語 I 朝鮮語 II			朝鮮語 I 朝鮮語 II
						兼任	講師	竹澤 賢樹 (52) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)
								社会福祉概論
兼任	講師	武村 敏幸 (67) <令和3年4月> 法学修士	兼任	講師	武村 敏幸 (67) <令和3年4月> 法学修士	兼任	講師	武村 敏幸 (68) <令和3年4月> 法学修士
		法学(日本国憲法)			法学(日本国憲法)			法学(日本国憲法)
			兼任	講師	多田 邦宏 (61) <令和3年4月> 学士(体育)	兼任	講師	多田 邦宏 (62) <令和3年4月> 学士(体育)
					スポーツ科学			スポーツ科学
兼任	講師	新澤 祥恵 (66) <令和3年4月> 修士(農学)	兼任	講師	新澤 祥恵 (66) <令和3年4月> 修士(農学)	兼任	講師	新澤 祥恵 (67) <令和3年4月> 修士(農学)
		食生活論 石川の食 北陸の食文化			健康管理概論 食生活論 石川の食 北陸の食文化			健康管理概論 食生活論 石川の食 北陸の食文化
			兼任	講師	平山 雄大 (35) <令和3年4月> 修士(栄養科学)			
					コンピュータ基礎演習 I コンピュータ基礎演習 II			
兼任	講師	藤田 萩乃 (51) <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤田 萩乃 (51) <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤田 萩乃 (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		食品加工学			食品加工学			食品加工学
兼任	講師	松本 健司 (50) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	講師	松本 健司 (50) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	講師	松本 健司 (51) <令和3年4月> 博士(農学)
		フードスペシャリスト論			フードスペシャリスト論			フードスペシャリスト論
			兼任	講師	柳川 洋 (84) <令和3年4月> 医学博士	兼任	講師	柳川 洋 (85) <令和3年4月> 医学博士
					公衆衛生学 保健統計学			公衆衛生学 保健統計学
兼任	講師	吉本 恵律子 (68) <令和3年4月> 文学士	兼任	講師	吉本 恵律子 (68) <令和3年4月> 文学士	兼任	講師	吉本 恵律子 (69) <令和3年4月> 文学士
		英語 I 英語 II			英語 I 英語 II			英語 I 英語 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、実(研))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">・職位変更により飯田範子助教を教授に変更。科目名称変更により、担当科目に「給食経営管理論Ⅰ」「給食経営管理論Ⅱ」「校外実習（給食の運営）」「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」「臨地実習Ⅱ（給食経営管理）」を追加。・上田伸男教授の就任辞退に伴い、鈴木三枝教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅱ（プレゼミⅡ）」「公衆栄養学」「地域栄養演習」「公衆栄養学実習」「公衆栄養活動論」「総合演習」「臨地実習Ⅲ（公衆栄養）」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「実践栄養学特論Ⅱ」「臨地実習事前・事後指導Ⅱ」。その他の担当科目「栄養薬理学」を渡邊琢夫教授、「運動生理学」を清田直恵兼担准教授、「運動生理学実習」を外山寛兼担教授の担当に変更。・榎本俊樹教授の就任辞退に伴い、高橋徹教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ（プレゼミⅠ）」「学修基礎Ⅱ（プレゼミⅡ）」「生物学基礎」「食品学Ⅰ」「食品学Ⅱ」「食品学実験Ⅰ」「食品機能論」「総合演習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「食品栄養化学実験」「実践栄養学特論Ⅱ」。・担当科目の調整のため、西村栄恵准教授の担当科目「健康栄養学概論」を川村美笑子教授及び渡邊琢夫教授の担当科目に変更。・科目名称変更により、川村美笑子教授の担当科目に「応用栄養学Ⅰ」「応用栄養学Ⅱ」を追加。・櫻田惣太郎教授の就任辞退に伴い、担当科目「保健統計学」「公衆衛生学」を柳川洋兼任講師、「保健統計学実習」を板谷智也兼任講師、「健康管理概論」を新澤祥恵兼任講師、「社会福祉概論」を竹澤賢樹兼担助教の担当に変更。・職位変更により七尾由美子准教授を教授に変更。科目名称変更により、担当科目に「栄養教育論Ⅰ」「栄養教育論Ⅱ」「栄養情報処理演習」を追加。・職位変更により西村栄恵教授を准教授に変更。担当科目の調整のため、「健康栄養学概論」「食品加工学実習」を外し、「調理学実習Ⅳ」を追加。また、科目名称変更により、「献立作成演習」「調理学実習Ⅰ（実験含む）」を追加。・兼任教員の負担削減のため、山脇あゆみ兼任講師の担当科目「地域課題研究Ⅰ」を渡邊琢夫教授、「地域課題研究Ⅱ」をから林直之教授の担当に変更。・掛場清美准教授の就任辞退に伴い、宮本佳代子教授が就任。担当科目は「栄養アセスメント」「臨床栄養学Ⅰ」「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養実践演習」「臨床栄養学実習」「総合演習」「臨地実習Ⅰ」「臨床栄養」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「実践栄養学特論Ⅰ」。・矢野俊博教授の就任辞退に伴い、安川然太准教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅳ」「食品加工学実習」「食品微生物学」「食品衛生学」「食品衛生学実験」「総合演習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「微生物学」「微生物学実験」「実践栄養学特論Ⅱ」。・兼任教員の負担削減のため、ロバートカニンガム兼担教授の担当科目「専門英語」を渡邊琢夫教授の担当に変更。・職位変更により鶴見田鶴子助教を准教授に変更。担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅳ」「臨床栄養学Ⅰ」を外し、「応用栄養学演習」「学修基礎Ⅲ」を追加。科目名称変更により、「栄養アセスメント」「臨床栄養実践演習」「臨地実習Ⅰ（臨床栄養）」を追加。・佐喜真未帆助教の就任辞退に伴い、徳永美希講師が就任。担当科目は「学校栄養教育法」「食に関する指導法」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。・職位変更により、中崎崇志兼担准教授を兼任教授に変更。・深掘遼太郎兼任講師の就任辞退に伴い、「経済学の基礎」の担当を根本博兼担教授に変更。・担当科目の調整のため、福井卓也兼担教授及び棟田雅也兼担助教の担当科目「スポーツ科学」を藤本素子兼担助教及び多田邦宏兼任講師の担当に変更。・担当科目の調整のため、前川浩子兼担准教授の担当科目「心理学の基礎」を中崎崇志教授の単独科目に変更。・兼任教員の負担削減のため、中村直行兼担准教授の担当科目「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を平山雄大兼任講師の担当に変更。

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・教員の負担軽減のため、高橋徹教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」を外す。・教員の負担軽減のため、鈴木三枝教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」を外す。・担当科目の調整のため、林直之教授の担当科目に「学修基礎Ⅲ」を追加。・鶴見田鶴子准教授の退職に伴い、「学修基礎Ⅲ」を宮本佳代子教授の担当科目に追加、「応用栄養学実習」を徳永美希講師の担当科目に追加。・教育の充実を図り、徳永美希講師の担当科目に「学修基礎Ⅳ」を追加。・担当科目の調整のため、西村栄恵准教授の担当科目から「就業体験（インターンシップ）」を外し、徳永美希講師の担当科目に追加。・兼任教員の負担軽減のため、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」及び「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を平山雄大兼任講師の担当科目から外し、高橋徹教授の担当科目に追加。・担当科目の調整のため、渡邊琢夫教授の担当科目から「地域課題研究Ⅰ」を、林直之教授の担当科目から「地域課題研究Ⅱ」を外し、川村美笑子教授、鈴木三枝教授、徳永美希講師の担当科目に追加。・教育の充実を語り、「健康栄養学概論」の担当に、飯田範子教授、鈴木三枝教授、西村栄恵准教授、徳永美希講師を追加。・担当科目の調整のため、宮本佳代子教授の担当科目に「臨地実習事前・事後指導Ⅰ」を追加。・塚崎玲子兼担准教授の退職に伴い、嶋村真志兼担講師が「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」を担当。・竹澤賢樹兼担助教の退職に伴い、竹澤賢樹兼任講師として就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	2	0	3	13	5	8	2	1	0	11	5
(8)	(3)	(1)	(0)	(12)	(5)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	2	1	0	11	5	8	2	1	0	11	5
[0]	[0]	[1]	[Δ 3]	[Δ 2]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ 3]	[Δ 2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 65 教授以外 60 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{13} = \boxed{84.61} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{11} = \boxed{36.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	上田 伸男	R3.3	選択	栄養薬理学	①	R3.3自己都合のため就任辞退（3）						
				必修	運動生理学	②							
				選択	運動生理学実習	②							
				必修	公衆栄養学	①							
				選択	地域栄養演習	①							
				選択	公衆栄養学実習	①							
				選択	総合演習	①							
				必修	実践栄養学特論Ⅱ	①							
				選択	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
2	教授	榎本 俊樹	R3.3	必修	学修基礎Ⅱ（プレゼミⅡ）	①	R3.3自己都合のため就任辞退（3）						
				必修	食品学Ⅰ	①							
				必修	食品学Ⅱ	①							
				必修	食品学実験Ⅰ	①							
				必修	食品学実験Ⅱ	①							
				選択	食品機能論	①							
				選択	総合演習	①							
				必修	実践栄養学特論Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				3	教授	櫻田 惣太郎		R3.3	選択	保健統計学	②	R3.3自己都合のため就任辞退（3）	
選択	保健統計学実習	②											
必修	健康管理概論	②											
必修	公衆衛生学	②											
必修	社会福祉概論	②											
選択	総合演習	①											
必修	実践栄養学特論Ⅱ	①											
必修	卒業研究Ⅰ	①											
4	教授	矢野 俊博	R3.3	必修	学修基礎Ⅲ	①	R3.3自己都合のため就任辞退（3）						
				選択	微生物学	①							
				選択	微生物学実験	①							
				必修	食品衛生学	①							
				必修	食品衛生学実験	①							
				選択	総合演習	①							
				必修	実践栄養学特論Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
5	准教授	掛場 清美	R3.3	選択	生物学基礎	①	R3.3自己都合のため就任辞退（3）						
				必修	健康栄養学概論	①							
				必修	応用栄養学Ⅰ	①							
				必修	応用栄養学Ⅱ	①							
				選択	スポーツ栄養学	①							
				選択	応用栄養学演習	①							
				必修	栄養アセスメント	①							
				必修	臨床栄養学Ⅰ	①							
				選択	臨床栄養学Ⅱ	①							
				選択	臨床栄養学実践演習	①							
				必修	臨床栄養学実習	①							
				選択	総合演習	①							
				必修	実践栄養学特論Ⅰ	①							
				選択	臨地実習Ⅰ（臨床栄養）	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
6	助教	佐喜真 未帆	R3.3	選択	学校栄養教育法	①	R3.3自己都合のため就任辞退（3）						
				選択	食に関する指導法	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
6	人	必修	36	科目	必修	32	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	20	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	59	科目	計	52	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	鶴見 田鶴子	R4.3	必修	学修基礎Ⅲ	①	R4.3.31付け自己都合のため辞任(4)			
				選択	応用栄養学演習	①				
				必修	応用栄養学実習	①				
				必修	栄養アセスメント	①				
				選択	臨床栄養学Ⅱ	①				
				選択	臨床栄養実践演習	①				
				必修	臨床栄養学実習	①				
				選択	総合演習	①				
				選択	臨地実習Ⅰ(臨床栄養)	①				
				必修	卒業研究Ⅰ	①				
必修	卒業研究Ⅱ	①								
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)		後任補充状況の集計(E)+(G)											
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)							
7	人	必修	42	科目	必修	38	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	28	科目	選択	25	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	70	科目	計	63	科目	計	7	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{7}{13} = 53.84\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年3月に就任辞退した6人については、本人のやむを得ない事情により辞退することとなったと理解している。後任教員については、公衆衛生学を専門とする教授1名、食品学を専門とする教授1名、臨床栄養学を専門とする教授1名、食品衛生学を専門とする准教授1名、栄養教育を専門とする准教授1名を任用している。また現在は兼任教員で対応しているが、早急に保健統計学を専門とする専任教員を任用する予定である。また、令和4年4月に就任辞退した1人についても、本人のやむを得ない事情による辞退であったと理解している。その担当科目は、臨床栄養学を専門とする教授1名との共同開講であったため、現在、単独開講として対応している。これについても、早急に後任の専任教員を任用する予定である。

このように、専任教員の辞任による学生の履修に関する不都合は生じていない。また、教員が辞任することについて、学生便覧やシラバス等も適正に修正を行っており、学生が混乱することはなかったと考える。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画		
認 可 時 (令和2年度)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項	今後、任期満了あるいは定年等により60歳代の熟練教員が退職する令和6年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用することとし、実力ある教員を登用していきたい。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(3)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和6年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。(3)
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)	学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。 今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することを計画している。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(3)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。(3)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)	学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。 今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することに務めた。 その結果、令和3年5月1日現在、定年を延長して採用している教員数が47.61%であったものが、令和4年5月1日現在、38.88%に改善している。しかし、依然として高い割合であることより、今後も取り組みを継続する計画である。(4)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(4)

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)</p>	<p>多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、原因分析や改善策 が十分ではないため、 教育研究水準の維持向 上等に配慮した安定的 な教員組織の編成のた め、詳細な原因分析及 びより効果的な改善策 について検討すること。 (栄養学部栄養学</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>追加の書面調査に対して、 就任辞退又は辞任の主な 原因が、収束の兆しが見 えないコロナ禍であるこ とに起因している事を説 明したが、今後、その対 策として検討委員会を 立ち上げ、効果的な改 善策について検討を重 ねることとしている。 (4)</p>	<p>履行中</p>	<p>追加の書面調査に対して、 就任辞退又は辞任の主な 原因が、収束の兆しが見 えないコロナ禍であるこ とに起因している事を説 明したが、今後、その対 策として検討委員会を 立ち上げ、効果的な改 善策について検討を重 ねることとしている。 (4)</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)</p>	<p>定年規程に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行す ること。(栄養学部栄 養学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>現在、定年に関する規定を 遵守することを第一に、 30～40歳代の准教授、 講師あるいは助教を採 用することに務めている。 その結果、令和3年5月 1日現在、定年を延長し て採用している教員数 が41.66%であった ものが、令和4年5月 1日現在、36.36%に 改善している。しかし、 依然として高い割合 であることより、今後 も取り組みを継続する 計画である。(4)</p>	<p>履行中</p>	<p>履行状況に記載した経験 豊富な60歳以上の教員 が30～40歳代の若手 教員に知識や経験を伝 え、定年に関する規定 を遵守することを第一 に、30～40歳代の准 教授、講師あるいは助 教を採用する計画とし ている。その際、年齢 構成が偏らないよう な人員計画としていく 予定である。(4)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<栄養学部 栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、FD活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学FD委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。また、SD活動についても、大学FD委員会や担当事務職員が中心となり、FD活動との連携を重視しながら計画的に実施している。

※関係規程等

○金沢学院大学ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会規程

施行 平成20年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、金沢学院大学学則第24条の2並びに学校法人金沢学院評価委員会規程第8条の定めに基づき、金沢学院大学(以下「本学」という。)に設置するファカルティ・デベロップメント(FD)委員会(以下「委員会」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、本学の教育研究活動の向上に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の点検
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、理事長・学長の諮問する事項

2 委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。

3 委員会が必要と認める場合、併設校である金沢学院短期大学FD委員会と連携することができる。

(構成)

第3条 委員会は、原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第3項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。

- (1)委員長
 - (2)委員(小委員長) 若干名
- 2 前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。
- 3 委員は、原則5名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。
- 3 委員会が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(事務)

第6条 委員会に係る事務は、教務部が所掌する。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は、副学長を中心として各学部や事務職員から選出された委員からなる全学FD委員会を組織し、FD活動を教育開発センターのプロジェクトの1つに位置づけて取り組んだ。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、委員を集めての会議はあまり実施していないが、必要に応じて書面付議による審議を行い、活動については、隔週で開催されている教育開発センター会議に委員長やプロジェクトリーダーが出席し、報告や意見聴取等を行った。

c 委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図るために、定期的を開催するFD/S D研修会の企画について議論を重ねている。また、FDについてはピアレビュー改革プロジェクトを中心に、授業評価アンケートやピアレビューの実施方法について見直し、評価結果について集計・分析も実施している。

S Dについては、各部署の業務や、外部の研修会で得た知識等を共有できるような研修のあり方について、議論を重ねた。

② 実施状況

a 実施内容

- ①教員相互の授業参観及びピアレビュー
- ②授業評価アンケート
- ③FD/S D研修会

b 実施方法

- ①前年度後期に引き続き、すべての授業期間をピアレビュー期間に設定し、教員全員がピアレビューのために授業を公開して、空き時間のある教員が参観した。その後、授業者とレビューヤーによる意見交換の場を設けることとした。
- ②前期及び後期の2回、各期末に11項目の質問と自由記述によるオンラインアンケート調査を実施した。
- ③FD研修会・S D研修会

令和3年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。

第1回FD/S D研修会

日時：令和4年2月18日（金）16:00-17:00
内容：学生の学修環境の改善と授業改善について（教育力の向上）
※ Google Meet によるオンライン開催

第2回FD/S D研修会

日時：令和4年2月25日（金）15:00-16:30
内容：障害学生支援における合理的配慮の基本的な考え方と支援体制（障がい学生支援）
※ Zoom によるオンライン開催
※ 本研修会は、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、同センター主催の「第14回障がい学生支援セミナー」との共催とした。

上記の他、新任教員研修を3回開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互のピアレビューは全教員を対象に実施しており、授業アンケートも全教員が対象となっている。FD研修会およびS D研修会への参加については、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。そのため、やむを得ない出張や会議あるいは当番職員を除いて、必ず1回は研修会に参加できるよう工夫し、ほぼ全員が出席できるようにしている。各研修会の出席状況については以下のとおりである。

第1回FD/S D研修会 出席者120名（大学教員98名 短大教員20名 事務職員1名 附属高校教員1名）
第2回FD/S D研修会 出席者102名（大学教員81名 短大教員17名 事務職員4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで実施してきたピアレビューについては、全ての授業回を参観可とし、参観後は相互もしくはチームでディスカッションを行い、振り返りを重視することとしている。

また、平成30年度から準備を進めてきたアセスメントポリシーの策定に伴い、評価の適正化をはかるため、ルーブリックの導入も進めている。

今年度の研修会では、学生を取り巻く学修環境に注目し、前期に実施した授業アンケートの結果に基づいて、本学LMSの利用等ICT教育インフラの活用や、教員の板書・スライド教材のあり方など、学生からの要望が多かった点について重点的に取り上げた。障がいのある学生の修学支援については、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、「障がい学生支援セミナー」への参加を広く学内に呼びかけた。当日はセミナー会場である金沢美術工芸大学とオンラインで結び、修学支援の実務経験を有する外部講師による事例報告を中心とした講演を視聴した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。各期末に11項目の質問と自由記述欄を設けたオンラインアンケートを作成してURLを学内ポータルサイトに掲載した。学生には学内ポータルサイト及び各科目担当教員から呼びかけて、回答を求めた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教育開発センター会議において報告がされている。その内、早期対応が必要と思われる教員や授業については、学長の指示のもとで個別に指導・対応をしている。

なお、アンケートの集計結果については本学ホームページ「情報公開」において、学部・学科間での比較ができるような形で公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
開設初年度にあたる令和3年度から、本件改組の趣旨を達成できるよう、学生が自らの興味、関心を足がかりとして、学修を進める経験をとおり、主体的に問題を発見し、解を見出し、解決につなげていく力を修得できるように授業の工夫を行うこととしている。今年度は全学年で対面授業を実施し、学生とのやり取りも容易になったことから、学生の主体的な学修を支える教育体制がより充実したものになっている。1年次で学修した基礎的な汎用的な知識を基に、2年次以降はより実践的な学修を実施し、その結果として、身体・健康状況のみでなく、生活状況、嗜好など様々な状況を踏まえ、適切な「栄養診断」を踏まえた「栄養の指導」を行い、一人ひとりに応じた栄養管理・食事の方法を指導・提案できる実践力や課題解決力を身に着けた専門性の高い管理栄養士の育成を目指したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・ 令和4年5月末 公表（次回は令和7年9月末公表予定）

b 公表方法
・ 大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画
・ 令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 其他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。